



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2103号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 栗原 達治 幹事 藤江 康儀



広重版画より 三島 朝霧

第2166回例会

2017.6.22晴

司 会

柴崎恵子君

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 古川喜仁君

会長挨拶

会長 栗原達治君

改めまして、皆さま、こんにちは。ビジターの紀平様、よくいらしゃいました。ゆっくりおかつろぎください。

空梅雨かと思われた今年でございますが、昨日あたりから、それらしい気候になってきました。あちこちで喝水が心配されていましたが、一安心ということになります。(ちょっと降りすぎの感がありますが。)

昨日の朝刊では、新旧の交代というタイトルで、将棋の現役最高齢棋士の、加藤一二三・九段の63年間にわたる現役生活にピリオドを打ったこと。対して、最年少プロ棋士藤井聡太四段(14歳)・最多28連勝へ今日対局との記事が大きく掲載されておりました。(夕方、28連勝の報道あり)

ロータリークラブも、年度末、ここで新旧の交代がございます。毎年新旧が交代し、回転して回ってゆくロータリーは、加藤九段のように無言で引退というわけにはいきません。西本年度に協力、サポート・アドバイスさせていただきますので、あと残る2回の例会、よろしく願っています。

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 紀平幸一君(伊豆中央RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	36/41	87.80%	40/41	97.56%
今回	34/42	80.95%	会員総数	47名

欠席者 窪田君、鈴木(正)君、諏訪部(照)君、橋本君、花房君、藤江君、古屋君、米山君



今後の例会予定

6月29日(木) 例会時間・例会場変更
サヨナラ例会 はなぶさ旅館

7月 6日(木) 総会 12:30 呉竹

7月13日(木) 夜間例会 18:30 呉竹
ガバナー補佐訪問

7月20日(木) 通常例会 12:30 呉竹

7月27日(木) ガバナー公式訪問 12:30 呉竹
せせらぎ三島RCとの合同例会

2016~2017年度
国際ロータリー会長
ジョンF.ジャーム

人類に奉仕するロータリー

おめでとう

結婚記念日 相山君

スマイルボックス

- ◆室伏君、西ロータリークラブのゴルフコンペ10年振りに参加しました。108たたきました。煩惱がつきまとわっています。救いはニアピンバーディーです。
- ◆原君、本日、もっとも長い日、卓話です。
- ◆ゴルフ同好会、6月18日(日)にゴルフコンペを中伊豆グリーンクラブにて開催しました。優勝矢岸さん・準優勝平出さん3位前田房江さんでした。次回は、7月2日(日)富嶽カントリークラブで取りきり戦を行います。

ROTARY NEWS

最近のポリオ症例について理解する

世界保健機関(WHO)によると、今月、コンゴ民主共和国とシリアでワクチン由来ウイルスによるポリオの症例が報告されました。シリアでは少なくとも17件、コンゴでは少なくとも4件が確認されています。現在、この事態に早急に対応するため、両国では世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)によりさらなる予防接種活動と現地調査が行われています。

WHOによると、さらなるウイルス拡散を防ぐため、近隣国でも調査と予防接種が強化されています。新たな症例が確認された一方で、ポリオ撲滅に向けた懸命な取り組みにより、今年の現時点までに報告された症例数は過去最少となっています。先日アトランタ(米国)で開かれたロータリー国際大会では、寄付国や寄付団体がポリオ撲滅に12億ドルを寄付することを約束し、取り組みにさらなる拍車がかかると期待されています。ワクチン由来ウイルスによるポリオ発症はまれであり、特定の状況においてのみ起こります。ポリオウイルスの病原性を弱めて作られた経口ワクチン(生ワクチン)は、まひ症状を引き起こさずに、免疫を高める効果があります。ワクチンの投与後、弱められたウイルスが子どもの腸内で増殖し、その後で排泄されます。衛生環境の乏しい地域では、この排泄物に含まれるウイルスにはほかの子どもが感染する可能性があります。これはその子どもの免疫を高めることにもなるため、必ずしも悪いことではありません。免疫のない(弱い)子どもがこのウイルスに感染しない限り、ウイルスはいずれ自然に消滅します。しかし、予防接種率が低い地域では問題が生じます。ワクチン由来ポリオウイルスが予防接種を受けていない子どもや十分な免疫力のない子どもを通じて広がる恐れがあるからです。ウイルスは、長期にわたって(少なくとも12カ月)伝播すると、まひを引き起こすほど強力なウイルス株へと変異する可能性があります。

卓話

お万の方(養珠院)と家康

原 久一君

家康との出会い

「世が世であればお姫様で何の苦勞もなかったのによく家族の面倒を見ておられると14～15歳の娘には、よく働きますことに関心じゃ、それにしても礼儀がしっかりしておら達にあつてもちゃんとお辞儀はするのだよ」いつの間にか近郷在住にも知れわたって器量よしの孝行娘と評判になり里歌までになるほど蔭山氏広の養女として母を支えよく働いた。江川太郎左衛門英長様は、北条家の家臣である江川家の28代。源氏の家柄で平安時代伊豆に移り、頼朝公の鎌倉幕府の設立に功を上げた。小田原の戦では、北条家と徳川家の交渉ごとに携わったが、同僚におとしめられ徳川方についた。以降、徳川方から熱く信頼を寄せられていた。英長様と蔭山氏広は、親密な関係で、小田原の合戦の時には、戦を避けようと二人で和平に動いた。小田原落城後は、加殿に住む氏広様を江川英長様は、代官として氏広様を陰から支えてきた。「その江川殿からの話ですが家康公が駿府より江戸城にお入りになられて女中衆をさがしておられる。」「江川殿がそなたの評判をお聞きして、家康公にお目通りを是非させたいと言うのじゃよ」お万は、驚いてお母様に尋ねた「お母様は、いかが思いですか」「そなたの気持ち次第であります。」「慣れぬお城勤めは容易ではあるまい。じゃが、そなたが立派にお勤めすることは、正木家、北条家、蔭山家のためには、とても名誉なことありますぞ」

家康公直々の命令の異例の人事であった。順調に側室へと上り詰めたお万様は、蔭山氏広の養女であった恩義を忘れずに家康公へ「蔭山」の姓を願い出してお許しをいただいた。公式には、「蔭山殿」となる。お万様17歳、家康公51歳であった。家康は、豊臣秀吉様の命令で江戸と伏見を半年ごとに移り住む生活であった。いつもお万様をお連れになられたゆえ東海道の宿場でも評判であった。お万様を一目見ようと行列の通るところになると宿場町の者たちが大勢見物に集まるほどであった。行列を見るには、街道の両側に土下座して上目づかいにちらりと覗きただけである。徳川二百数十年の安寧なる世を築かれ天下に並ぶものなき知将、家康公は、浄土へ静かに旅立たれた。享年七十五歳。元和二年(1616年)日遠上人に受戒の作法をお願いし、感応寺にて住職の日陽上人に評判の黒髪を落としていただき「養珠院」と号し日夜、大御所様のご冥福をお祈りされた。

頼宣公は、紀州、殿様、頼房公は水戸、徳川御三家の二つの城主はお万の方の子息であり水戸の光圀公は、孫にあたり徳川八代將軍は、紀州、頼宣公の直系、吉宗であることは、皆様もご存じのとおりです。

(週報担当:佐野宏三)

三島西RCテーマ

親睦を深め ロータリーを楽しもう